

委員会 審査結果報告



定例会中に開催された委員会の
審査や活動を報告します。

(各委員会に付託された議案の審査結果は7ページ)



田中委員長



中嶋副委員長



田中委員



永水委員



中村委員



山倉委員

総務財政委員会

定住自立圏形成協定締結 平成30年10月連携開始

定住自立圏の形成に
関する協定を締結

本案は、飯塚市との間において定住自立圏形成協定を締結するため、議会の議決事件を定める条例に基づき提案されたものです。

執行部より、定住自立圏の形成に関する協定書には、定住自立圏構想推進要綱に基づき、第1条「目的」から第7条「疑義の解決」までを定め、第3条の「連携する政策分野等」においては3つの政策視点、取組事項、取組内容及びそれぞれの取組みにおける飯塚市及び嘉麻市の役割を定めている。

作業部会を設置し、定住自立圏共生ビジョンに明記される具体的な連携事業について協議を行う予定であるとの説明がありました。

委員より、この協定は飯塚市と締結するものだが、連携事業(案)では桂川町も含めた2市1町で取り組んでいる既存事業もある。その場合の負担割合はどうなるのかとの質問に対し、これまでも2市1町で協議を進めているところであり、今後どのように経費負担の割合を定めていくかが非常に重要なことであるとの回答がありました。

審査の結果、全会一致で可決しました。

※本会議では、賛成多数で可決されました。

30年10月からの連携開始に向け、所管ごとに

民生文教委員会



岩永委員長



藤副委員長



中嶋委員



新井委員

稲築山野第一集会所新築移転

嘉麻市同和対策施設
条例の一部を改正す
る条例

本案は、稲築山野第一集会所の新築移転に伴い、条例に所要の改正を行うため提案されたものです。

執行部より、集会所改修のための現地調査を行ったところ、隣接する山を含め集会所の設置場所が土砂災害特別警戒区域に指定されていたため、地元との協議の結果、設置場所を移転することとなり、住所地番の条例変更を行うものであるとの説明がありました。

委員より、高齢化が進む中、新たに集会所を建設し、運営管理することが将来的に負担になるのではとの質問に対し、山野第一集会所については、次の世代に残していきたいという地元の方の強い要

望から、新たに建設することとなった。今後、改修の対象となる集会所が10箇所程度あるため、維持管理や必要性を地元の方と協議しながら進めていきたいとの回答がありました。

また、同和対策施設という意味で歴史的な経過があるにしても、行政が、この地区は旧同和地区であると示すべきではないという意見もありました。

審査の結果、賛成多数で可決しました。
※本会議では、賛成多数で可決されました。



山野第一集会所

産業建設委員会



北富委員長



田上副委員長



廣方委員



出水委員



坂口委員

嘉麻市営住宅条例の
一部を改正する条例

本案は、老朽化した市営住宅等の用途廃止により、住宅等戸数に変更が生じたことから、条例に所要の改正を行うため提案されたものです。

執行部より、今回は昭和39年度から昭和48年度に建設された山田地区
百々谷団地1戸
北西川団地1戸
あさひが丘団地4戸
にじが丘団地3戸

稲築地区
大坪団地2戸
鳴生北町団地6戸

碓井地区
小太郎団地1戸
熊本団地1戸

愛宕団地2戸
井ノ浦団地2戸

嘉穂地区
寺の前団地1戸
中益団地7戸

合計12団地31戸及び山田ゆうひが丘団地において地元より利用していないとの申し出があった第4集会所1戸の用途廃止を行うものであるとの説明がありました。

委員より、他市では学生への市営住宅提供事業や、移住定住を希望される方にお試し住宅として貸出す事業を行っているが、嘉麻市でも目的外使用の範囲を広げることは出来ないのかとの質問に対し、火災などの緊急時に、住居が必要になったときに短期間だけ入居させることを目的外使用で対応している。今後他市の事例を調査したいとの回答がありました。

審査の結果、全会一致で可決しました。
※本会議では、全会一致で可決されました。